



附属小学校だより

平成 29 年 7 月 発行

研究成果を発信

本校では、平成 25 年度より、研究主題を「思考の活性化による認識の深まり」と掲げ、4 年間にわたり、教育実践に取り組んできました。6 月 16 日には、本年度の教育研究発表会を開催し、全教科及び道徳、外国語活動の公開授業を通して、最終年度の研究成果を発表しました。また、文部科学省初等中等教育局視学官の澤井陽介先生をお招きし、講演会を行いました。当日は、県内外の先生方、教育関係機関の先生方、大学生等、500 人を超える参会者とともに、充実した研修を行うことができました。



【思考を深めていく子供たち】



【熱心な議論が交わされた事後協議会】

また、4 年間の研究成果をまとめた著書『「深い学び」のある授業 ―思考の活性化による認識の深まり―』（A 5 版 208 頁）を東洋館出版社より発行しました。本著では、「理論編」にて、授業づくりのポイントを 10 項目に絞って提言し、「実践編」にて、各教科・領域毎に授業の具体を示しています。3 月に文部科学省から新学習指導要領が告示され、これからの教育についての指針が示されました。キーワードは「主体的・対話的で深い学びの実現」だと考えます。それに向けても意味のある著書に仕上がったと自負しています。



～創校 140 周年に向けて～

おめでたいことに、今年は本校が誕生して 140 年になります。11 月 17 日の創校記念音楽会にあわせて、創校 140 周年記念式典を開催します。140 年の歩みを寸劇にして、子供たちと演じたり、合唱を聴き合ったりして、学校の誕生日をお祝いしたいと思っています。

少年団活動より

日ごろより、少年団活動に対してご支援を賜り、ありがとうございます。子供たちは限られた時間を有効に使って練習に励み、各種大会で好成績を残しています。今後とも、少年団活動の運営にご支援を賜りますよう、また、力強い声援を送っていただきますよう合わせてお願い申し上げます。

【ミニバスケットボール部】

ミニバスケットボール部では、「互いの高まりを求めて、自ら考え実践していく」「結果ばかりでなく、取り組む過程に意味を見出し、日々の練習に励む」「少年団以外でも、学校や学級のリーダーとして進んで活動をする」を活動の方針として、日々の練習に励んでいます。

また、「コートに立つ5人全員で自分たちのバスケットをつくりあげる！」という原田コーチの教えを大切に、チーム力を高めようと取り組んでいます。

現在、4年生3名、5年生6名、6年生2名の計11名で活動しています。4月1日、2日に行われた富山市新人戦では、富山市2位となりました。これからも、公式戦、練習試合、附属中学校との合同練習等、基本技術とその応用ができることを目指します。



【サッカー部】

富大附属サッカースポーツ少年団は、過去5回（県内最多）の全国大会出場を誇る伝統あるチームです。チームの基本姿勢は、ALL FOR ONE. ONE FOR ALL!!です。

高学年は、中村監督の下、「考えるサッカー」「強い気持ち」「確かな技術」を合言葉に、心一つにしてパスをつないでゴールを目指しています。また、中学年は、「サッカーを楽しむこと」をねらいに、仲良くボールを蹴り、お互いを高め合っています。

現在、4年生8名、5年生9名、6年生1名の18名で活動しています。7月に本団主催の「第27回わんぱくサッカーフェスティバル」を開催します。トヨタ少年サッカースクール（愛知県）の子供たちや県内のチームと交流し、心身ともに健全な子供を育てたいと考えています。



【吹奏楽部】

吹奏楽部は、創部31年目を迎えました。齋藤先生やパートレッスンをしてくださる外部講師の方々、環境をサポートしてくださる保護者の方々のおかげで、密度の濃い練習ができています。「継続は力なり」を合い言葉にして日々練習を積み重ねています。全員がレギュラーとして活躍する中で、異学年との友情を育み、合奏を通して協調することの喜びと感動を味わっています。

現在、3年生7名、4年生7名、5年生6名、6年生13名の計33名で活動しています。自分が楽しむだけでなく、聴いてくださる方々に感動してもらえる演奏を目指しています。楽曲の構成を理解し音程や音色等を追究し、今年度も全国大会という最高の場で質の高い附属小学校らしいサウンドを披露できるように頑張っています。

